

## ＜マニュアル6＞ DMAT（災害派遣医療チーム）

### ▶ DMATとは

大地震及び航空機・列車事故等の災害時に被災地域に迅速に駆けつけ、緊急治療や病院支援等を行うための専門的な訓練を受けた医師、看護師、業務調整員（医師、看護師以外の医療職員または事務職員）で構成される医療チームです。このうち、本県の医療機関のチームを高知DMATと呼び、この中には日本DMAT研修を修了したDMATと、国に認められた高知DMAT研修を修了したDMATがあります。後者は高知県内の災害に限って出動することができます。

### ▶ このマニュアルの取扱い

このマニュアルは、高知県で災害が発生した場合の県内での医療救護活動の指針となるものですが、県が別途定める高知DMAT運用計画及び国が定める日本DMAT活動要領と相違がある場合は、これらの計画及び要領を優先します。

## 1 DMATの概要

### （1）DMATの活動

- ア **病院支援** 災害拠点病院、救護病院等多くの傷病者が集まる医療機関からの情報発信、当該病院でのトリアージや診療の支援、広域医療搬送のためのトリアージを実施します。
- イ **地域医療搬送（域内搬送）** 県または市町村が実施する域内での搬送（災害現場または医療救護所から被災地域内の医療機関へ、被災地域内の医療機関から近隣地域の医療機関へ、被災地域内の医療機関からSCUへの患者搬送）の支援を実施します。
- ウ **現場活動** 災害現場または医療救護所等におけるトリアージ、緊急治療等を実施します。
- エ **本部機能支援** 県医療本部及び県医療支部の運営補助を行います。また、災害時に県が配置する災害医療コーディネーターの活動を支援します。

### （2）DMATの活動拠点

DMATは、DMAT本部あるいは活動拠点を設置し活動します。医療機関に支援に入る場合は、病院長の指揮下に入り、病院スタッフと協力して支援活動を行います。また、このうち、下記ア～ウの「本部」には、必要に応じて日本DMAT事務局の要員、県内外の統括DMAT、DMATロジスティックチームが支援に入ることがあります。

ア DMAT高知県調整本部（県医療本部内に設置）

被災地域内に設置された各DMAT本部間の調整を行う拠点であり、統括DMATが調整本部責任者となります。本県の場合は、災害医療コーディネーターが調整本部責任者を兼務することがあります。

イ DMAT活動拠点本部（災害拠点病院に設置）

DMATの病院支援及び現場活動等の指揮・調整を行います。先着した統括DMATが責任者となりますが、先着したDMATに統括DMATがない場合は、統括DMATが到着するまで先着したDMATの医師が責任者として活動します。

ウ DMAT・SCU本部（航空搬送拠点臨時医療施設（SCU）に設置）

DMATが行う広域医療搬送活動等の指揮及び調整を行います。先着した統括DMATが責任者となりますが、先着したDMATに統括DMATがない場合は、統括DMATが到着するまで先着したDMATの医師が責任者として活動します。

エ DMAT病院支援指揮所（各医療機関に設置）

当該医療機関に参集したDMATが行う病院支援活動の指揮を行います。

オ DMAT現場活動指揮所（災害現場周辺に設置）

DMATの現場活動の指揮を行います。

カ DMAT・SCU指揮所（航空搬送拠点臨時医療施設（SCU）に設置）

DMATのSCU活動の指揮を行います。

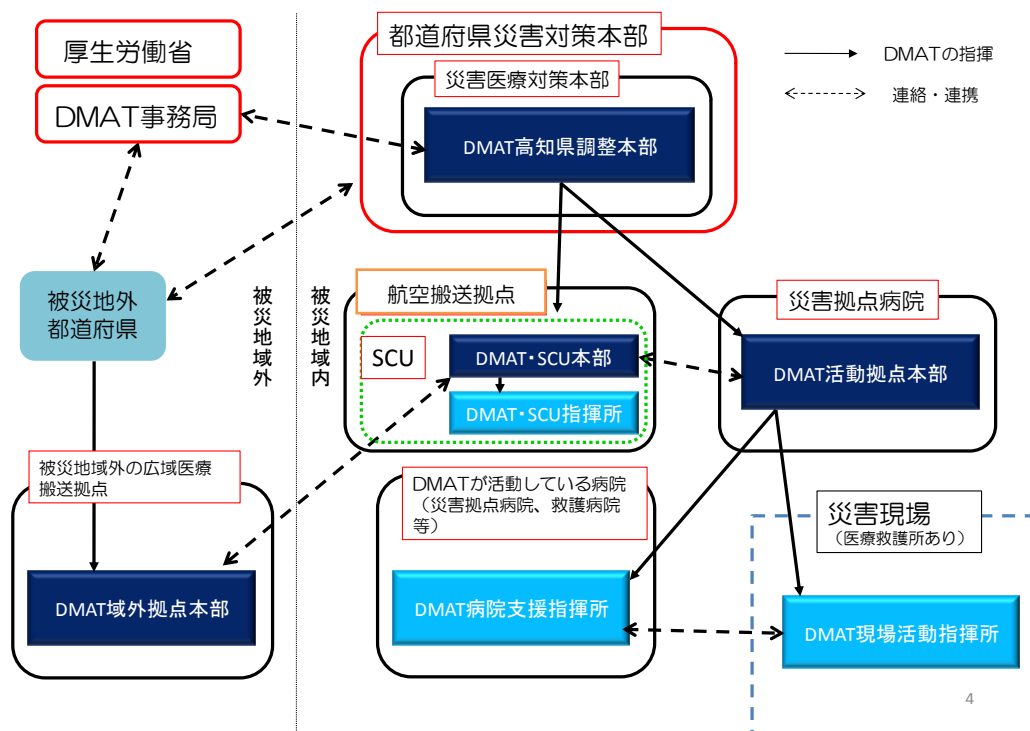


図 6-1 DMAT体制のイメージ図

### (3) 高知DMATの整備状況

県内には、日本DMAT研修を修了したチームが32チーム（16病院）、高知DMAT研修を修了したチームが32チーム（16病院）あります。このうちDMAT指定医療機関は16病院となっています。（平成27年1月31日現在←最終はH27.3.31時点で修正）

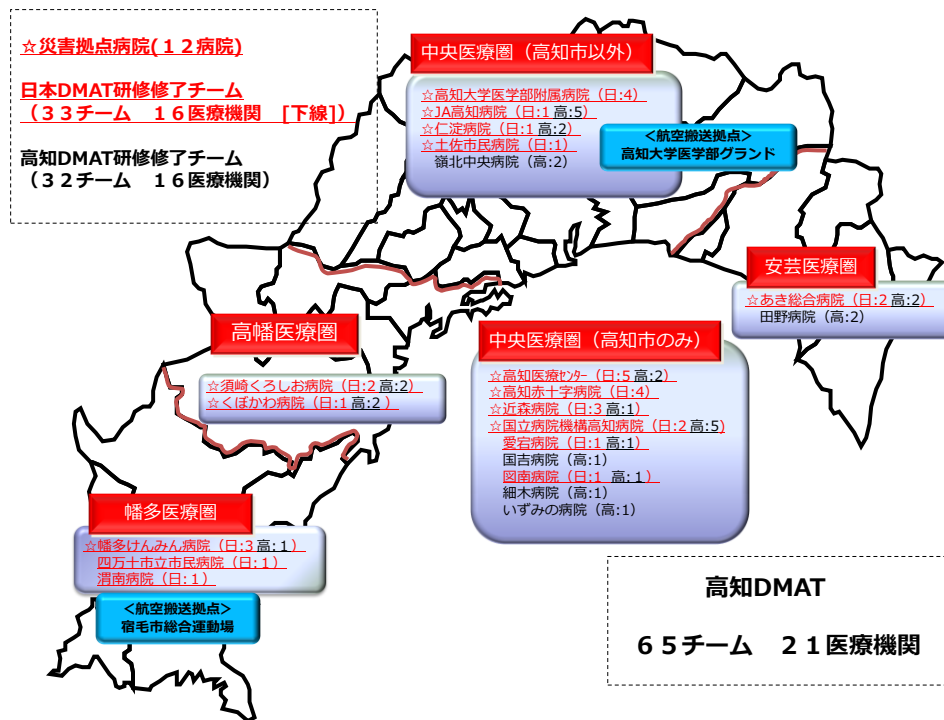


図 6-2 高知DMATの整備状況

<凡例> 数字はチーム数  
日：日本DMAT研修を修了  
高：高知DMAT研修を修了

### (4) 高知DMATへの待機及び出動要請

#### (高知DMATへの待機要請)

ア 県または厚生労働省等は、県内で地震その他の災害が発生しDMATの出動が必要となる可能性がある場合は、DMAT派遣のための待機を県内のDMAT指定医療機関に要請します。

イ 強い揺れの地震があった場合、津波警報（大津波）が発表された場合など、大きな災害が予測されるときは、すべてのDMAT指定医療機関は、県若しくは厚生労働省等からの要請を待たずにDMATの派遣のための待機を行います。

**(高知 DMAT の出動要請)**

ウ 知事は、高知DMAT運用計画に規定される基準も考慮のうえ、速やかに県内のDMAT指定医療機関に対してDMATの派遣を要請します。

**高知DMAT運用計画での規定**

- ~~(ア) 県内で震度6弱の地震または死者数が2人以上50人未満若しくは傷病者数が20名以上見込まれる災害が発生した場合~~
- ~~(イ) 四国ブロック内で、震度6強の地震または死者数が50人以上100人未満見込まれる災害が発生した場合~~
- ~~(ウ) 震度7の地震または死者数が100人以上見込まれる災害が発生した場合~~
- ~~(エ) 東海地震、東南海・南海地震または首都直下型地震が発生した場合~~
- (ア) 県内での災害等により、重症患者が10名以上発生、又は発生することが予測され、かつ地域の通常の救急医療体制では対応が困難と考えられる場合
- (イ) 四国内での災害等により、重症患者が10名以上発生、又は発生することが予測され、かつ当該県内の通常の救急医療体制では対応が困難と考えられる場合
- (ウ) (ア)、(イ)に定める場合のほか、高知DMATが出動し対応することが効果的であると認められる場合
- (エ) 国あるいは他都道府県からの派遣要請に基づき、高知DMATの出動の必要性が認められる場合

**2 高知県外からのDMATの派遣**

県外からのDMATの派遣は、原則として被災地域である県の派遣要請に基づき、要請を受けた他の都道府県が派遣するものです。ただし、厚生労働省は当分の間、被災地域の派遣要請がない場合であっても、緊急の必要があると認めるときは、都道府県等に対してDMATの派遣を要請することができるとしています。

**(1) DMATの待機要請**

ア 各都道府県、厚生労働省等は、強い地震や大規模な災害が発生し、被災地域外からの医療の支援が必要な可能性がある場合は、それぞれのDMAT指定医療機関に対して派遣のための待機を要請します。

イ 次の場合には、すべてのDMAT指定医療機関は被災の状況にかかわらず、都道府県または厚生労働省等からの要請を待たずにDMAT派遣のための待機を行います。

- (ア) 東京都23区で震度5強以上の地震が発生した場合
- (イ) その他(ア)以外の地域で震度6弱以上の地震が発生した場合
- (ウ) 国内で津波警報（大津波）が発表された場合
- (エ) 東海地震注意情報が発表された場合

- (オ) 国内で大規模な航空機墜落事故が発生した場合
- (カ) 高知DMATの出動を要すると判断するような災害等が発生した場合

## (2) DMATの派遣要請

ア 県は、県外からの医療の支援が必要な規模の災害に対応するため、以下の基準(国のDMAT活動要領に規定)に基づき、管下の統括DMAT登録者等の意見を聴いて、速やかにDMATの派遣を他の都道府県、厚生労働省、国立病院機構等に要請します。

- (ア) 県内で、震度6弱の地震または死者数が2人以上50人未満若しくは傷病者数が20名以上見込まれる災害が発生した場合  
⇒県内のDMAT指定医療機関に対してDMATの派遣を要請します。
- (イ) 県内で、震度6強の地震または死者数が50人以上100人未満見込まれる災害が発生した場合  
⇒県内のDMAT指定医療機関並びに四国ブロックに属する都道府県(香川県、徳島県、愛媛県)に対してDMATの派遣を要請します。
- (ウ) 県内で、震度7の地震または死者数が100人以上見込まれる災害が発生した場合  
⇒県内のDMAT指定医療機関並びに四国ブロックに属する都道府県(香川県、徳島県、香川県)及び四国ブロックに隣接する地方ブロックに属する都道府県に対してDMATの派遣を要請します。
- (エ) 東南海・南海地震が発生した場合  
⇒県内のDMAT指定医療機関及び全国の都道府県に対してDMATの派遣を要請します。

イ 地方ブロックの名称及び当該ブロックに属する都道府県は、次のとおりです。

- (ア) 北海道ブロック：北海道
- (イ) 東北ブロック：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県
- (ウ) 関東ブロック：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- (エ) 中部ブロック：富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- (オ) 近畿ブロック：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- (カ) 中国ブロック：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- (キ) 四国ブロック：香川県、愛媛県、徳島県、高知県
- (ク) 九州・沖縄ブロック：福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

## (3) 各都道府県DMATの派遣

- ア 県または厚生労働省から派遣要請を受けた都道府県は、管内のDMAT指定医療機関に派遣を要請し、派遣要請を受けたDMAT指定医療機関は、待機が完了しているDMATから順次派遣を行います。
- イ 県または厚生労働省が指定する参集拠点（災害拠点病院、[広域医療航空搬送拠点](#)等）に参集し、そこで活動内容の指示を受けます。
- ウ 参集してくるDMATは、EMISに携行資機材や構成メンバー、連絡先（衛星携帯電話番号等）、現在の移動場所などを入力しながら参集してくるため、その情報は県医療本部等からも確認できます。
- エ 医療資機材や通信手段、移動手段や食料、水、寝袋など自己完結を前提とした装備を有して参集してきます。

#### （4）高知県内でのDMATの指揮・調整

- ア 県医療本部は、県内で活動する全てのDMATを、県医療本部内に設置するDMAT高知県調整本部を通じて統括します。
- イ DMAT高知県調整本部は、県医療本部の指揮の下、県内で活動する全てのDMATの指揮・調整及び各DMAT本部の設置を行います。
- ウ 被災地域の各DMAT本部（DMAT活動拠点本部、DMAT・SCU本部等）は、DMAT高知県調整本部の指揮の下、被災地域内で活動するDMATの病院支援活動、現場活動及び広域医療搬送などの直接的な指揮・調整を行います。
- エ 各DMAT本部は、病院支援、現場活動及びSCU活動を指揮するために、必要に応じてDMATの活動場所に指揮所を設置します。
- オ 県内の医療救護施設に支援に入るDMATは、当該施設の管理者の指揮下に入り支援活動を行います。

#### （5）DMATロジスティックチーム

県は、災害の規模に応じて、厚生労働省・DMAT事務局と調整のうえ、都道府県、文部科学省、国立病院機構等に対してDMATロジスティックチーム隊員の派遣を要請します。

# <マニュアル7> 広域医療搬送

## 1 広域医療搬送の概要

### (1) 目的

広域医療搬送の目的は、被災地域内での治療が困難なため被災地域外の医療施設において緊急に手術や処置などを行うことにより、生命・機能予後の改善が十分期待され、なおかつ搬送中に生命の危険の少ない病態の患者を、被災地域外の医療施設まで迅速に搬送し治療することです。

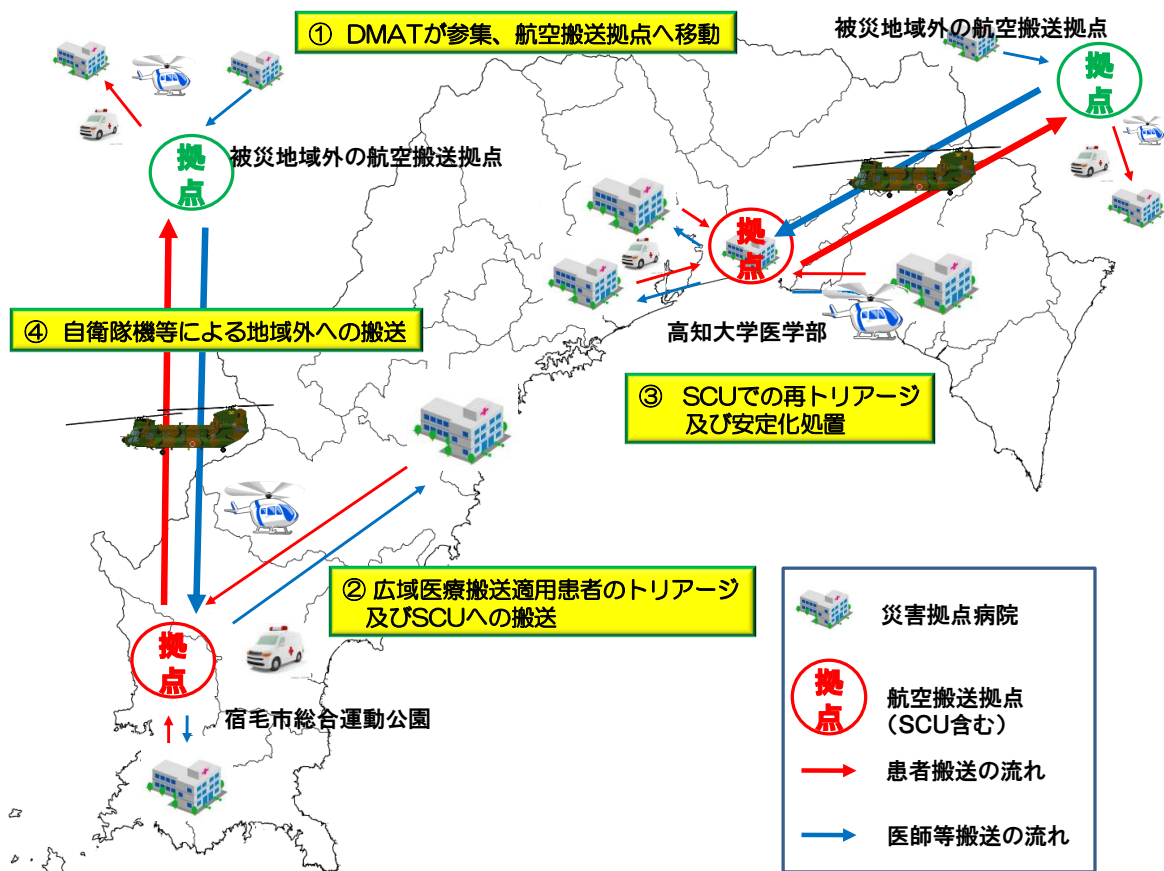


図 7-1 大型回転翼機を使用した広域医療搬送活動の概要

### (2) 広域医療搬送の適用

(優先順位別の時間目標)

優先順位別に、それぞれ何時間以内に、被災地域外の病院へ搬入するべきかは次のとおりです。

緊急度A：発災後8時間程度を目標に実施

緊急度B：発災後24時間程度を目標に実施

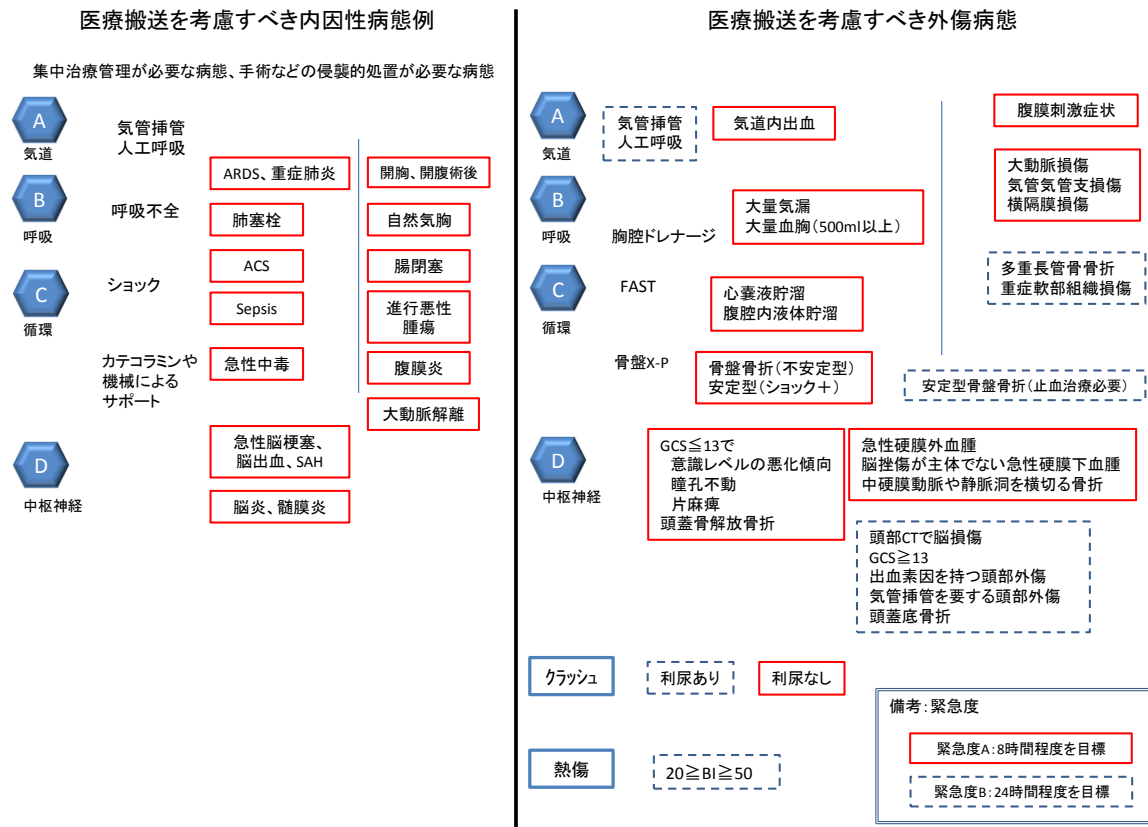
広域医療搬送拠点  
→ 航空搬送拠点に修正

(広域医療搬送の適用となる重症者の症状例)

- ア 頭、胸、腹部等に重症の外傷がある患者
- イ 身体の一部が家屋に挟まれた等の既往がある患者 (クラッシュ症候群)
- ウ 全身に中等度以上の熱傷がある患者 ( $20 \leq BI \leq 50$ )

(3) 広域医療搬送の搬送トリアージ基準

- 災害時は Primary survey + a で判断



(4) 不搬送基準

これに該当する症状の患者は広域医療搬送の不適用患者として判断しますが、絶対基準ではなくあくまでも相対基準として判断してください。

ア 四肢体幹外傷

FiO2 1.0 下の人工呼吸で、SpO2 95%未満  
急速輸液 1,000ml 後に、収縮期血圧 60mmHg 以下



## イ 頭部外傷

意識が GCS $\leq$ 8 または JCS 三桁で、かつ両側瞳孔散大 頭部 CT で中脳周囲脳槽が消失
---

## ウ 広範囲熱傷

BI $>$ 50
-----------

## 2 主な機関の役割分担

## (1) 国の役割

- ア DMA Tの派遣調整
- イ 広域医療搬送用航空機の確保・運航（広域医療搬送計画の策定）
- ウ 被災地域外の都道府県への、広域医療搬送患者の被災地域外での搬送手段及び受入医療機関の確保の要請

## (2) 被災県の役割

- ア 被災地域内の**広域医療航空**搬送拠点の確保
- イ 被災地域内の**広域医療航空**搬送拠点での航空搬送拠点臨時医療施設（SCU）の設置・運営
- ウ 災害拠点病院から航空搬送拠点内SCUまでの、患者搬送手段の確保・調整

## (3) DMA Tの役割

- ア 被災地域内の災害拠点病院における広域医療搬送適用患者の選出
- イ SCUにおけるトリアージ及び医療活動
- ウ **MATTS-EMIS**の**医療搬送機能**の運用
- エ 地域医療搬送及び広域医療搬送中の患者の管理、応急処置

## 3 SCUの設営

## (1) SCU（航空搬送拠点臨時医療施設）とは

- ア 被災地域内の災害拠点病院等から搬送されてくる広域医療搬送適用患者を一時収容し、同患者の症状の安定化を図り、広域医療搬送のためのトリアージを実施するための臨時的医療施設として、必要に応じて被災地域及び被災地域外の**広域医療航空**搬送拠点に設置されるもの。

- イ SCU設置主体 高知県
- ウ 運営方法 高知県とDMA Tが連携して運営
- エ SCU資機材 高知県で事前に確保するものとDMA Tが持参する資機材

## (2) SCUの設置・運営における役割

(県医療支部)

- ア SCU展開に必要な資機材の準備
- イ 参集したDMAT及びSCU管理協力病院と協力してのSCU設置
- ウ 高知県SCU本部の設置・運営  
(要員の配置、通信連絡体制の確保、患者搬送班の編成など)
- エ DMATが立ち上げるDMAT・SCU本部との連携

(DMAT)

- ア SCU医療資機材を可能な範囲で持参
- イ 県医療支部及びSCU管理協力病院と協力してSCUを設置
- ウ DMAT・SCU本部(及びDMAT・SCU指揮所)の立ち上げとチームビルディング
- エ SCU活動の実施

(SCU管理協力病院)

- ア 保管しているSCU資機材の設置準備(県医療支部と協力)
- イ 県及びDMATと協力してSCUを設置

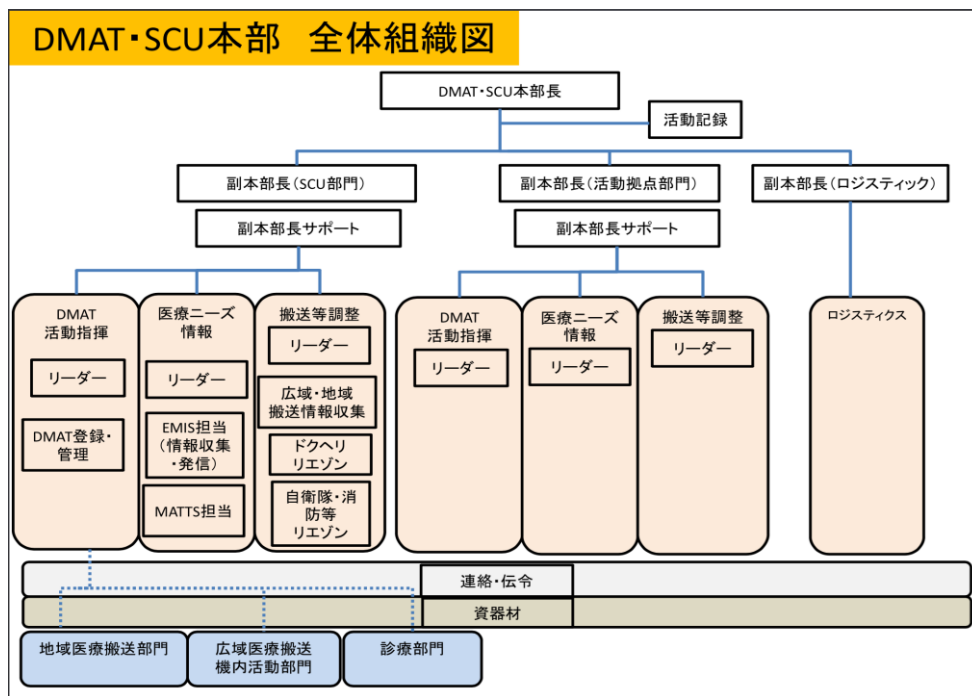


図 7-2 SCUの運営体制

## 4 広域医療搬送実施の流れ

### (1) 広域医療搬送の発動

- ア 医療機関からの情報収集等により、県医療本部で広域医療搬送の必要性を確認
- イ 県災害対策本部から、国(内閣府)へ広域医療搬送の実施を要請
- ウ 国において広域医療搬送の実施が決定(国から決定の連絡があります。)

## (2) 広域医療搬送の準備

- ア 被災地域内の災害拠点病院において広域医療搬送適用患者を選定、そしてSCUへの搬送準備
- イ 被災都道府県が**広域医療航空**搬送拠点内にSCUを設置
- ウ DMATによるSCUへの広域医療搬送適用患者の受け入れ準備

## (3) 広域医療搬送の計画

- ア 国が**航空機運航広域医療搬送**計画を策定し提示
  - (ア) 予定離発着時刻
  - (イ) 経路： どのSCUからどの県外の**広域医療航空**搬送拠点へ
  - (ウ) 搬送手段： C-1（輸送機）、C130（輸送機）、CH47（大型ヘリ）等
    - ※ 航空機運航の追加決定あり
- イ 都道府県が地域医療搬送（域内搬送）計画を策定し提示（国の**航空機運航広域医療搬送**計画に合わせて作成）
  - (ア) 予定離発着時刻
  - (イ) 経路： どの災害拠点病院からどのSCUへ
  - (ウ) 搬送手段： 救急車、ヘリコプター（消防、自衛隊、ドクターヘリ等）等
    - ※ 災害拠点病院での広域医療搬送適用患者の選定に合わせて追加決定あり

## (4) 広域医療搬送の実施

- ア 県が地域医療搬送計画に基づき、災害拠点病院からSCUへの広域医療搬送適用患者を搬送
- イ DMATと都道府県によるSCU活動
- ウ 自衛隊機によるSCUから県外の**広域医療航空**搬送拠点への搬送
- エ 国による県外の**広域医療航空**搬送拠点での搬送先病院の決定及び搬送

### 広域医療搬送の「SCU活動」とは？

- 1 災害拠点病院からの患者受け入れ
  - －患者登録用紙記入
  - －地域医療搬送にあたるDMATからの申し送り
- 2 広域医療搬送のための安定化処置の確認・追加
- 3 広域医療搬送適用の最終決定
- 4 搭乗患者の決定
  - －一次の便に搭乗させる患者を決定
- 5 搭乗者名簿の策定、連絡
- 6 自衛隊機への患者の送り出し
  - －搭乗者名簿の確認
  - －機内のDMATへの申し送り

### **MATTSEMISの医療搬送機能を使用**

- ・患者状況の入力・更新
- ・航空機搬送情報入力・更新
- ・搭乗者名簿の作成

⇒**MATTSはマニュアル9 (p.9-7)を参照**

# ＜マニュアル8＞ こうち医療ネットの掲示板機能

## 1 こうち医療ネットの概要

ア 「こうち医療ネット」は、高知県が運用しているシステムで、県内の病院、診療所、歯科診療所、薬局、消防機関及び行政機関などをインターネットで結び、県民の皆様には救急医療や医療機関の情報をお知らせするとともに、医療機関の連携にも活用されています。

~~イ 災害発生時には、国の広域災害・救急医療情報システム（EMIS）との連動により、医療機関情報の全国への情報発信や、医療機関状況の閲覧が可能となるなど、全国的な医療支援体制をとることを目的としたシステムです。~~

イ 災害時には、掲示板機能を活用して、高知県内の医療機関、県医療本部等との情報共有、医療機関間の医療救護活動への参画に関する情報交換等を行います。

ウ 「こうち医療ネット」の具体的な操作法や、ここで紹介する以外の管理者機能は、関係者メニュー（<http://www.kochi-iryo.net/member>）から「こうち医療ネット操作説明書」をダウンロードして確認することができます（管理者機能は県医療本部及び県医療支部が対象となります）。

~~エ 県医療本部は、南海地震が発生した場合には直ちに災害モードに切り替えて、全国に対してSOSを発信します。~~

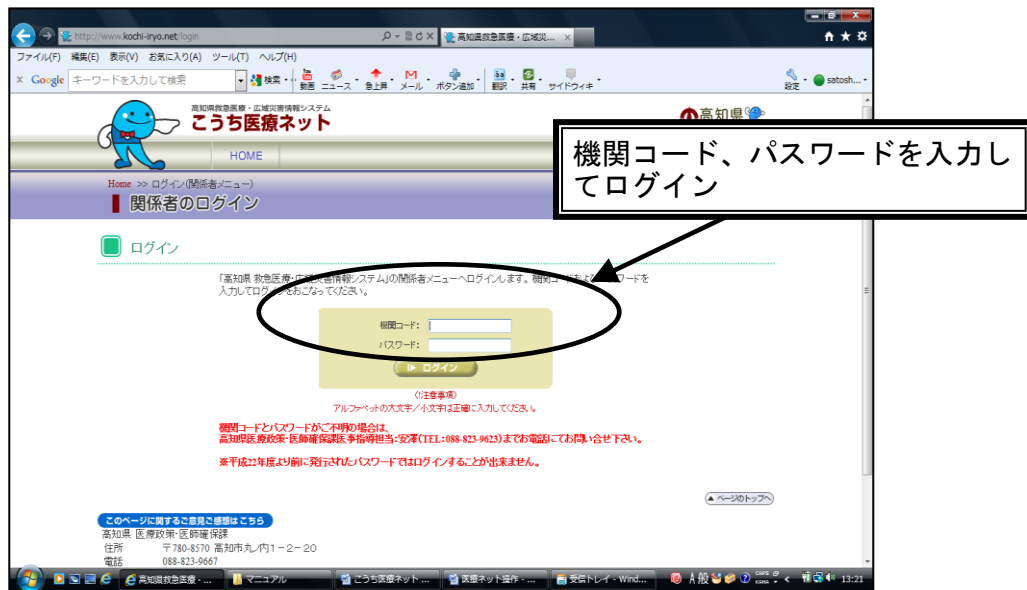
エ このほか、EMIS（国の広域災害救急医療情報システム）にも掲示板機能があり、全国の情報が掲載されます。こうち医療ネットからもEMISにログインできます（登録機関のみ）。

## 2 災害掲示板への投稿・閲覧

(1) 「こうち医療ネット」の画面を開きます。 [<http://www.kochi-iryo.net/>]



(2) 機関コード、パスワードを入力します。

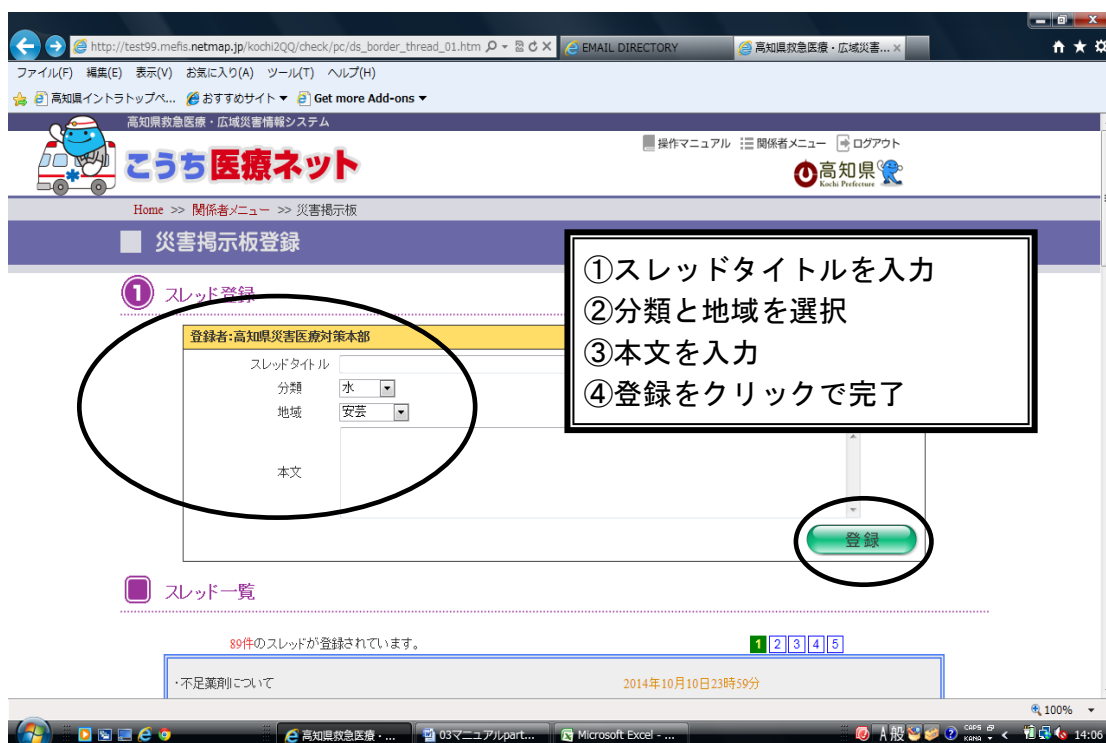


(3) 災害メニューで「災害掲示板」の「閲覧」または「登録」をクリックします。

- ・「災害掲示板閲覧」で、投稿されたコメントを閲覧することができます。
- ・「災害掲示板登録」から、災害時に必要な医療救護活動やその他共有したい情報等を書き込むことができます。様々な情報が投稿されるため、定期的に確認することが情報収集のためにも重要です。



①登録する場合



②閲覧する場合



③書き込みをする場合

①スレッドを選択  
②本文を入力（ファイルの添付も可能）  
③登録災害掲示板閲覧」をクリック

スレッド表示

・不足薬剤について 更新日時:2014年10月10日23時59分  
登録者:高知県災害医療対策本部  
分類:薬剤  
地域:県内全域  
本文:不足薬剤の情報を集めております。不足している薬剤の記述をお願いします。

登録者:高知県災害医療対策本部

コメント

添付ファイル  
※最大容量10MB

登録

## ＜マニュアル9＞ EMIS（広域災害救急医療情報システム）

### 1 EMISの概要

#### (1) EMISとは

ア EMISとは、国（厚生労働省）が運用している「広域災害救急医療情報システム（Emergency Medical Information System）」のことで、災害発生時に、各医療機関の情報入力または都道府県による代行入力により、被災した都道府県を超えて各医療機関の被災状況や患者受け入れ状況などの災害医療に関わる情報を共有し、被災地域での迅速かつ適切な医療救護活動のための各種情報を集約し提供していくためのシステムです。

[<http://www.wds.emis.go.jp/>]

~~イ さらに、高知県が整備している「高知県救急医療広域災害情報システム（こうち医療ネット）」と連動していますので、それぞれのシステムで入力した情報は一部を除き、相互に反映されます。~~

~~ウ また、EMIS独自の機能としてDMAT管理メニューも備えており、災害時におけるDMATの活動状況等が把握可能となっています。~~

イ また、DMATの派遣要請、活動状況（出動、移動、活動、撤収等）について一元的に管理を行い、その情報を関係者間で共有するDMAT管理機能、医療搬送患者の情報、搬送航空機等の管理を行い、搬送先である被災地外の医療機関、DMAT等と情報共有する医療搬送患者管理機能があります。

ウ さらに、DMATが急性期に避難所の状況調査（アセスメント）を実施することを想定した機能、医療救護所の患者情報等を共有する機能、亜急性期以降の救護班の活動状況を共有する機能などが備えられています。

エ EMISの具体的操作については、EMIS上にも掲載されている、「操作説明書」をダウンロードしてご覧ください。

~~オ 基本的にDMAT運用機能以外については「こうち医療ネット」の機能と同じですが、全国の医療機関状況から閲覧が可能です。~~

#### (関係者メニューへのログイン可能機関)

- 高知県災害医療対策本部（県医療本部）
- 高知県災害医療対策支部（県医療支部）
- 災害拠点病院
- 救護病院
- 災害時応需入力機関（追加参加可能）
- 各消防本部

※DMAT管理メニューも閲覧可能



## 以降、全面改訂（見え消し省略）

## (2) 関係者メニューへのログイン方法

(注) メニューへログインするための機関コード、パスワードは「こうち医療ネット」で使用しているものです。

## ① EMISのトップ画面で「災害関係者ログイン」をクリック



## ② 「機関コード」、「パスワード」、「所属（都道府県名）」を入力してログイン



## 2 災害時の運用

### (1) 運用の切り替え

県医療本部が災害運用への切り替えを行います。

### (2) 院内状況の入力

① 「緊急時入力」を行います。

まず「緊急時入力」を入力し、その後「詳細入力」を入力します。

### 【緊急時入力画面 1/2】

【緊急時入力画面 2/2】

緊急時入力 - 広域災害救急医療情報システム

多数患者の受診  有  無

**職員状況**

職員の不足  不足  充足

**その他支援が必要な状況**

その他  
上記以外で支援が必要な理由があれば入力してください。(200文字以下)

情報日時  
情報取得日時 2014 年 08 月 13 日 17 時 44 分  
上記内容(緊急時入力(発災直後情報))の状態を判断した日時を入力してください。

**緊急連絡先**

電話番号

メールアドレス

**入力**

Home > 関係者メニュー > 緊急時入力

Copyright (C) 2014 厚生労働省 (Ministry of Health, Labour and Welfare) All Rights Reserved.  
本サイト全館に関するご意見お問い合わせは、[広域災害救急医療情報センター](#)まで。  
DMATに関するご意見お問い合わせは、[DMAT事務局](#)まで。

【入力終了画面】

完了 - 広域災害救急医療情報システム

EMIS Emergency Medical Information System

Home > 関係者メニュー > 緊急時入力

災害運用中 (他県) [運用状況一覧はこちら](#)

現在の一般財団法人 操風会 岡山リハビリテーションの状況  
最終更新日時 緊急時入力: 2014/08/13 17:50:52 詳細入力: ----/--/---:--:--

**支援が必要な状態です。**

[ 入院病棟の倒壊、または倒壊の恐れがある / ライフラインに異常がある / 多数患者が受診している / 職員が不足している / その他の入力がない ]

状況が変わり次第、情報を入力してください。→ **緊急時入力** **詳細入力**

**緊急時入力が完了しました。**

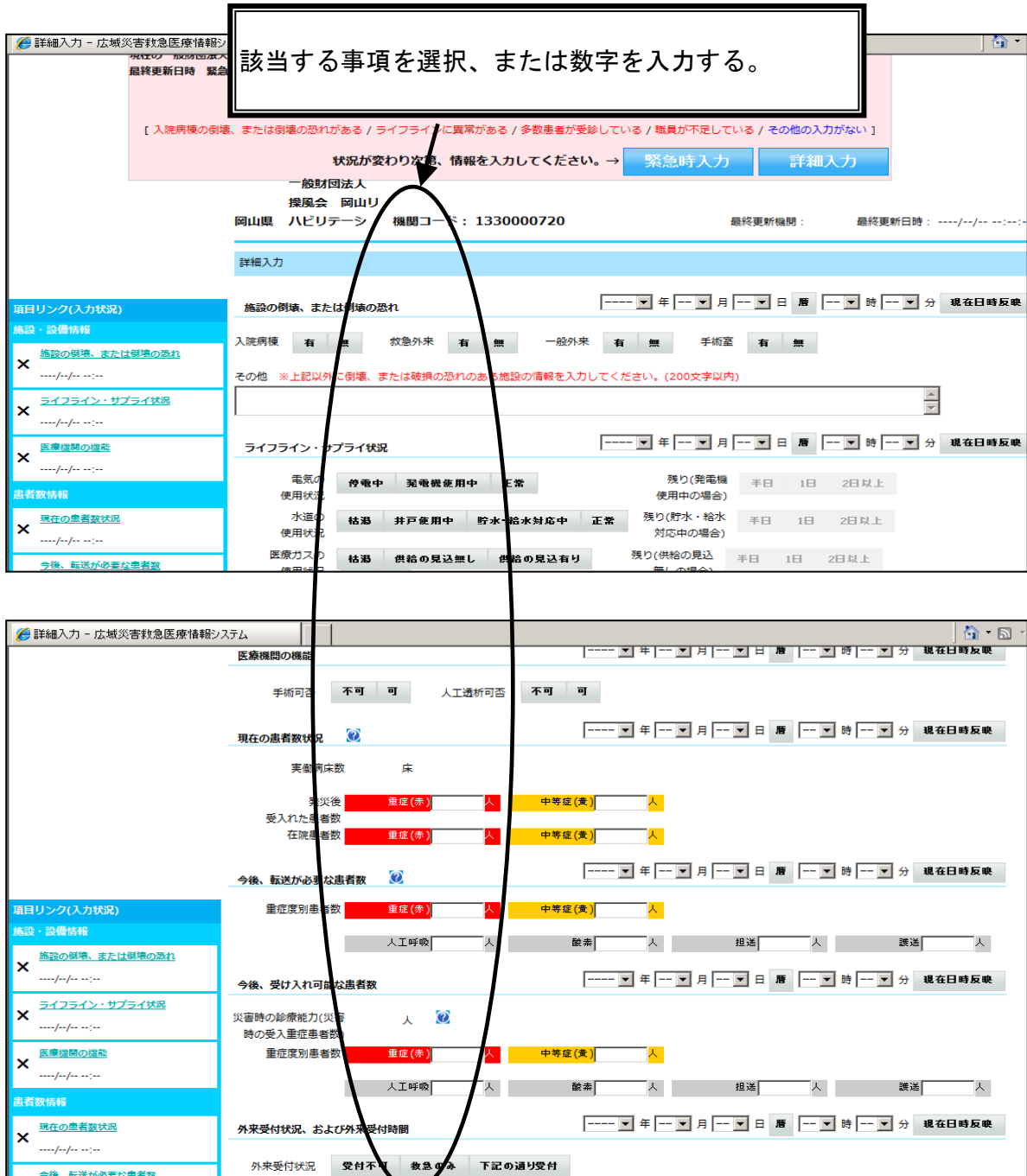
2014/08/13 17:50:52 **引き続き、詳細入力が可能**

**引き続き、より詳細な情報が入力可能ですか?**

**はい(詳細入力へ)** **いいえ(関係者メニューへ)**

②「詳細入力」を行います。

ある程度、病院内の状況が把握できた頃に具体的な被災状況、医療提供体制の実績等を入力します。全項目を一度に入力する必要は無く、状況が判明次第、その都度、入力を実施してください。（数字は半角。）



(3) 医療機関の状況の閲覧

① 医療機関状況の閲覧・出力

関係者メニューの「災害共通」、「医療機関等・支援状況モニター」を選択



赤：要手配。支援が必要な旨の入力があるが、支援チームがない。  
 青：被災なし。入力された内容が支援の必要なし。  
 桃：未入力。  
 黄：支援チームの手配は完了しているが、まだ支援活動が行われていない。  
 橙：支援チームが活動している。

(4) DMATの活動状況の閲覧

関係者メニューの「災害共通」、「活動状況モニター」を選択



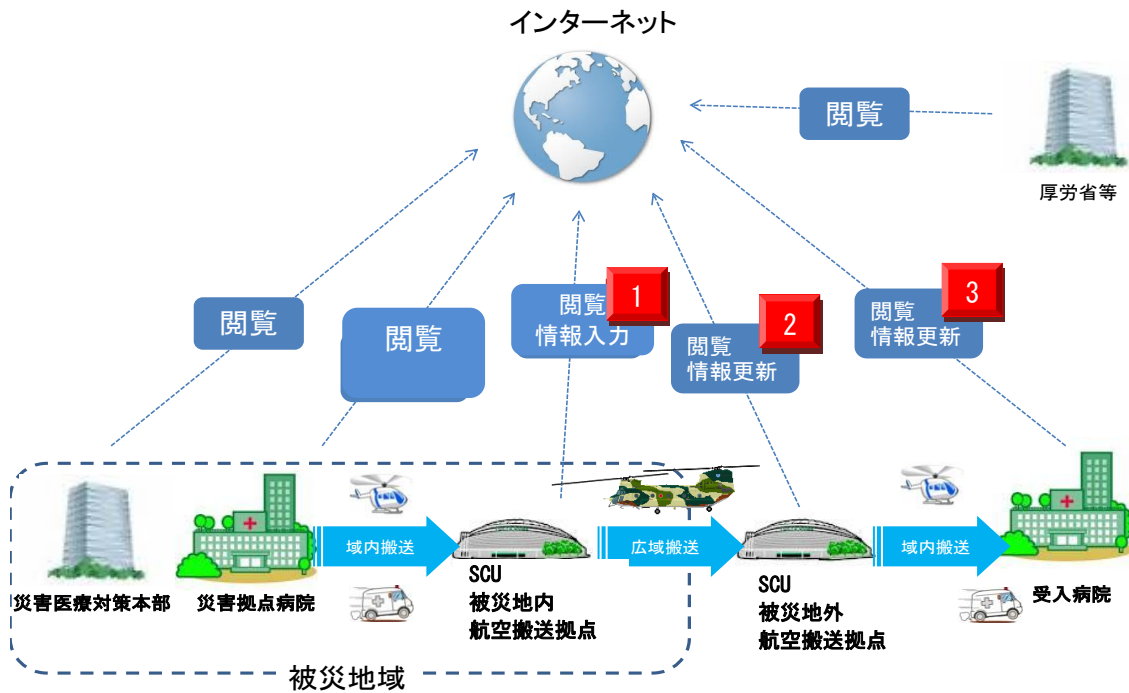
検索条件で「高知県」を選択します。  
キーワードで絞り込みも可能です。

検索結果画面



## 5) 医療搬送 (M A T T S)

ア 広域医療搬送を行う場合、被災地域内から搬送される広域医療搬送適用患者の情報を、災害拠点病院から被災地域内のSCUから、県外の航空搬送拠点を経由し、最終受け入れ病院まで、逐次入力、更新、閲覧できるようにします。



① 関係者メニューの「医療搬送」、「医療搬送患者登録」をクリックします。



② 医療搬送患者の登録

- ・ 広域医療搬送の患者登録は、被災地域内のSCUにおいて、DMATのSCU担当者が実施します。
- ・ ~~被災地域内の災害拠点病院及びSCU、被災地域外の航空搬送拠点及び最終受入病院は、搬送適用患者の状況の登録を行います。~~
- ・ ~~DMATのSCU担当者、災害拠点病院担当者等が実施します。~~

イ ~~日本~~DMAT事務局が、搬送で使用する航空機の情報登録します。あわせて出発日時や離発着するSCU等を登録します。

ウ SCUでは、航空機への搬送適用患者を登録し、搭乗者名簿も作成します。その他、航空機状況の更新を行います。

①関係者メニューの「災害共通」、「搭乗者名簿作成」をクリックします。





②条件を設定して、「検索」をクリックします。

③ 搭乗者名簿を作成したい航空機を選択します。

必要事項を記載して「登録」をクリックすると完了します。

航空機ID	出発空港	出発	出発日時	到着空港	到着	到着日時	航空機名 機種	所属DMAT	呼称番	備 考	更新日 時	更新	削除
551	オースト	予定			予定		C-1	北海道 試験機関 DMAT(PRC) 志保 東京都 試験機関 DMAT(PRC) 志保	0	無	2014/07/28 14:34		

- ④搭乗者名簿更新画面で必要事項を入力し、「更新」をクリックします。  
患者情報の更新、削除等も同様です。

※(\*)印は必須入力項目です。

**航空機情報**

出発情報  
 出発空港(\*) 新千歳空港  
 出発予定日時 2014年 05月 08日 00時 00分  
 出発日時 2014年 05月 09日 00時 00分

到着情報  
 到着空港(\*) 仙台空港  
 到着予定日時 2014年 05月 08日 00時 00分  
 到着日時 2014年 05月 09日 00時 00分

**航空機情報**  
 航空機名・機種(\*) C-1

**同乗DMAT**

No	医療機関名	DMAT	リーダー
1	試験医療機関	テストチーム4	
2	試験医療機関	DMAT1	氏名2
3	試験医療機関	DMAT2	氏名3
4	試験医療機関	DMAT61	氏名7

人工呼吸器搭載数  
 未選択  1  2  3  4  
 5  6  7  8  9  
 10

その他・補足情報  
 備考

患者選択

患者数: 1人

**患者情報**

患者ID	氏名(かな)	年齢	性別	傷病名	人工呼吸器
70	注: かんじゃ	32	男	<input checked="" type="checkbox"/> 集中治療管理が必要な病態、手術など侵襲的処置が必要な病態 <input type="checkbox"/> 頭部・体幹・四肢外傷 <input checked="" type="checkbox"/> クラッシュ症候群 <input checked="" type="checkbox"/> 広範囲熱傷 <input type="checkbox"/> その他	要
2	名: いちろう		女		不要

更新

- ⑤「災害共通」のメニューから、広域医療搬送適用患者の状況を、県災害医療対策本部、厚生労働省等の関係機関が閲覧できます。

